

AJU 愛実

第6号

発行者：特定非営利活動法人愛実の会

理事長島しづ子より	P1
事務局より	P2
愛実友だちの家のページ	P3~4
大地の家のページ	P5~6
紙風船のページ	P7~10
「自分を信じ愛する心」を育てたい／南寿樹	P11
寄付者名簿	P12

紙風船

飯田公演帰り道にて



アクア・トトぎふにて

大地の家



調理体験

愛実友だちの家





ナポレオンの靴！？

学生時代面白い先輩がいました。その先輩の話をよく思い出します。こういう話です。

フランスの英雄・ナポレオンの戦地でのこと。

ナポレオンは泥だらけの自分の軍靴を部下に渡して命じました。「きれいに磨いておくように。」翌朝、履こうとしたら靴は汚いままでした。怒ったナポレオンが「なぜ命令に従わないのか？」と厳しく糾すと、部下は「おそれながら、戦地は泥にまみれています。磨いても、またすぐに汚れてしまいますから、磨きませんでした。」と答えました。すると、ナポレオンが言いました。「そうか、ではお前はこれから食事をしてはならない。どうせ、食べてもまた腹がすくのだから、食べても無駄だろう！」たぶん、先輩の創作でしょう。

毎日同じように、掃除し、食事を作り、介助しているアシスタントの仕事を見ながら、この話を思います。介助という仕事は繰り返しの連続です。食べて、寝て、入浴して、どうせ、またお腹がすくのだから、どうせ汚れるのだから、と手抜きをしたら、悲惨な状態になります。

障がい者の家族は、自分が世話できなくなったら、どうしよう？という不安と、自分がしっかり世話をしなくては、という生きがいを持ちながら生きています。自分の弱りを覚えてくると、不安は増します。どうしたら、安心して暮らせるのでしょうか？愛実の会が課題としたことは、一肉親でなくても、メンバーを大事に見守り、共に生きてくれる人がいれば、生きられる一というものでした。昼間の部分は「生活介護」という形でお役に立っていると思います。これも制度だけでなく、アシスタントの思いがなければ成り立ちませんから、アシスタントのメンバーやそのご家族に対する熱意に感謝しています。

今後は、メンバーの夜間の介助やメンバーが地域で暮らす形が求められています。ケアホームという制度がありますが、メンバーになじまない思いがしています。知恵を働かせ。工夫を重ねなくてはと思います。

ある日のこと、みどりの家に住んでいる K さんが聞きました。長く助けてくれたアシスタントが辞めることを知った時でした。「〇〇さんがいなくなったら、私の生活はどうなるの？」住み込みのアシスタントがいてこそ、成り立つ自立生活のゆえに、アシスタントが替わる度に、心配になるのでしょうか。「あなたの周囲にあなたを助けてくれる人を作りましょう。あなたも寂しいだろうと思うけど、あなたは人を迎え、送り出す使命があるのだから～」と言いました。とはいえ、アシスタントが替わる度に、飲食、掃除、入浴の仕方など、数え切れない介護手順を教えることは疲れます。まして本人は疲れることでしょう。「ナポレオンの靴」の話のような繰り返しばかりです。そんな時、私は「神様、見ていてくれますか？」と呼びかけています。小さな、しかし大事な仕事をする時間は「大いなる人」と話し合うと力が出ます。K さんはよく「お祈りしよう」と誘ってくれます。せっせ・せっせと靴を磨き続けているみなさんに感謝しながら、大きなエールを贈ります。

島しづ子



パソコンと仕事

今、当法人の事務所には3つの机があり、1つの机に1台のパソコンが置かれています。職場で机ごとにパソコンが置かれているというのは今はもう普通のことに感じます。数年前病院へ行った時に医師が机にパソコンを置いて、私と話しながらパソコンのキーボードを打っているのを見て新鮮に感じたこともあります。

皆さんはパソコンがあると便利だと感じるがよくありますか？文章を作成するのも早くできるし(この文章もパソコンで打ったものです)、インターネットを使えば、本で調べたり電話で問い合わせるよりはるかに早く調べ物が済むことも多いです。実際こんなに早く答えが出ていいのかなと感じることもあります。作成した文書やデータ等も紙で保存するだけでなくディスクにも保存してあるとなると安心感もあります。ですから、パソコンを使うのがあたり前になった後で、パソコンなしで仕事しようと思うと相当ストレスがかかり時間も取られると思います。それに今は当法人が実施している生活介護(通所サービス)も居宅介護(ホームヘルプ)もインターネットでお金を請求するようになっていました。そういうわけでパソコンなしでは仕事が成り立たなくなっています。

では、皆さんはパソコンが好きですか？私自身は好き嫌いでいうとあまり好きにはなれません。仕事の上でパソコンに頼っておいて好きでないのですが、目も疲れやすくなりますし。それとこう思うのは私だけかもしれませんが、文書作成の基本はやはり紙とペンを用意してするものという考えがあります。それに何か調べ物をするのも本で調べたりいろいろ資料を取り寄せたりするのが本来のあり方だろうという考えを今も持っています。とはいってもこのことを書きつつも私自身、パソコンで文書を作りインターネットで調べ物をするに変わりはしないな、と思っています。

中森由哉

イエローレシートキャンペーン報告 (2008年3月～8月)

NPO法人愛実の会は、イオンで毎月11日に行われる「幸せの黄色いレシートキャンペーン」にジャスコ名古屋みなと店様・千種若宮大通り店様各店に3事業所、イオン大高店様に大地の家が登録させて頂きました。

このキャンペーンでは、集まったレシート合計金額の1%相当の商品を寄贈して頂きます。この度、電気ポットやデジタルカメラ、また日用品などを寄贈して頂きました。ありがとうございます。大切に活用させて頂きます。

また、9月からも各店継続して登録させて頂けることになりましたので、今後とも皆様ご来店の際はご協力よろしくお願い致します。

※9月より大高イオン店様には紙風船が登録させて頂いています

愛実友だちの家のペ〜ジ

(P3〜4)



プチトマトの行方は・・・！？



前回の会報で、プチトマトの栽培を始めたことを報告しましたが、どれくらい収穫できたか、気にかけてくださっている方もいらっしゃるのでは？種を蒔いてから順調に成長を続け、緑色の実も2、3個つき始めたので、きっともとなるだろうと、みんなで期待を寄せていました。

ところが、それから一向に増える気配を見せず・・・

結局わずかに実ったその実らも虫に先に食べられてしまいました(TAT)
命あるものを育てるのは難しいですね。。来年もがんばります！！？

天然酵母でパン作り

普段から愛実の会の昼食作りをしてくださっている、山本千恵子さん（全体写真左から二番目）と、天然酵母でのロールパンとコルネパン作りに挑戦しました。生地がとても優しいやわらかさで、触ったメンバーたちも気持ちよさそうな表情を浮かべていました。

コルネパンの形を作るのが難しく、アシスタントも苦戦しましたが、無事に昼食時間までに焼き上がり、ホイップクリームもた〜っぷり入れ、みんな満足の面持ちでぺろりと完食しました。





名古屋フィルハーモニー～夢いっぱいコンサート～ 7/17(木)



去年から紙風船の仲間と共に楽しんでいる名フィル主催の福祉コンサート。

『ぼくのわたしの特等席』という名の通り、ステージの真ん前のエリアは座席がなく、キルトケットに座り込んだり、寝転がったりして、クラシックの堅苦しいイメージはまったくない中、リラックスムードでの鑑賞です。

でも、演奏は正しく本物！！

素晴らしいオーケストラハーモニーにみんなびっくりするやら、笑い出すやら、泣き出すやら？！

楽器紹介や会場参加型の演奏もあってみんな大満足。指揮者の方が、オーケストラのことはもちろん、会場全体までも盛り上げてくれ、あっというまの1時間でした。

抽選で入場料を払っての鑑賞ですが、また来年も行きたいなあと思っています。

「小窓から」 1

大野義徳

「友人・知人といっしょに過ごす」 「障害の重い人といっしょに過ごす」

同じことのように、この二つの間には、どうしてこんなにも大きな溝があるのだろう。どうしてもこんなにも身構えるのだろう。

考えすぎてはいけない、そう戒めつつも、自分のなかに、また周囲の視線のなかにその違いを感じるのは、やはり事実だ。障害があろうがなかろうが同じ人間じゃないか、力を抜いていこうぜ、そんなことを思うこと自体がもはや自然じゃない。

人が人を支える、そこには快さ、清々しさのある反面、傲り、昂りという一面があるのも確かだ。そのうえ、支える？いや支えられているのさ、という持ちつ持たれつの関係に逃げこんでまいがちだ。支える(られる)、というのはかくも実に難しい。いずれ支える人も支えられる人も、自分の醜さにいやでも気づかされる。目の前の鏡に映されて見せつけられる。これではやがて心を蝕み壊してしまう。

なにが いけなかったのだろう。

じつは、支えてもいない、支えられてもいなかった。ただ隣りで座っていただけだった。いまはそう思う。「過ごす」というのは、「支える」じゃなく、「添う」ことだったのではなかったか。呼吸を合わせる。心を合わせる。合わせるじゃなく。千の言葉より、ひとつの沈黙の伝える力のいかに大きなことか。弱いものこそ強い、そんなあたりまえのことを、今更ながらに感じさせられる。

☆愛実に長年勤めているアシスタントが書きました。しばらく連載の予定です。お楽しみください。

★大地の家のページ★

(P5～6)

アクア・トトぎふに行ってきました

6月の中旬に岐阜県にある「アクア・トトぎふ」へ行ってきました。大地の家からは高速道路を使って1時間ちょっとと比較的近いところにありますが、昨年度はなかなか行く機会を作れなかったので、メンバーもアシスタントも当日を楽しみにしていました。

水族館の正式名称は、**岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ**といいます。子供から大人まで、岐阜県の自然環境、河川環境を楽しく学び、考える場とするとともに、癒しの効果を持つ施設とのことです。

展示は長良川の源流から始まって世界の川へと広がり、魚類を中心に爬虫類や両生類、鳥類など水辺の生き物たちのくらす環境が緻密に再現されていて、**淡水魚水族館としては世界最大級**だそうです。



↑アシカと間近でふれあいました



↑魚の群れに大興奮♪

4階建ての大きな建物の中をぐりと歩いて回りましたが、途中にマイナスイオンを感じられるような滝があったり、カワウソなどの小動物を間近で見られたり、長良川だけでなく世界の著名な川の生物を見られたり…見所の多い施設でした。

なかでも一番の驚いたのが「アシカショー」でした。最初はステージで演じていたアシカがトレーナーのお姉さんと

共に観客席に来て、お客さんと一緒になってショーを演じていました。大地の家のメンバーの近くにも来てくれ、メンバーは少し怖がったり、喜んだりとさまざまな表情を見せてくれました。

大きな施設でしたが、のんびりと見学することができ、癒しの効果も絶大でした★

福祉フェスタに向けて…

昨年度参加した福祉フェスタに今年度も引き続き参加することとなりました。昨年度は自主製品の販売を本格的に行い、売り上げで得た収益でみんなで区内にあるイタリアンレストランヘランチに出かけました。

今年度も福祉フェスタに向けて自主製品の作成が本格的に始まっています。

昨年度取り組んだ「プリンせっけん」「さをり織り」に加え、今年度は新たに「絞り染め」にも取り組んでいます。

大小さまざまな大きさのタオルに、輪ゴムやタコ糸などを思い思いの場所にぐるぐる巻きつけ、玉ねぎ、紅茶、しその葉などから作った液に浸しては取り出し、また浸すという作業を行なっています。

思い描いたような柄ができることはほとんどありませんが、思っていた以上にきれいな柄ができたり、突拍子もない柄ができたり…作業そのものだけではなく、出来上がりも楽しみにしながら取り組んでいます。

今年度も昨年度と同じように、一生懸命販売に取り組み、得た収益でみんなで楽しめる使い方を考えて行きたいと思います。

★あったかあつた福祉フェスタに参加します★

11月16日(日)に**熱田区生涯学習センター**にて催される『あったかあつた福祉フェスタ』に今年度も出展します。

大地の家では自主製品の販売、バザーコーナー、活動紹介などをする予定です。

普段ではなかなか体験することのない“**販売活動**”をメンバーと共に取り組みたいと考えております。みなさんのご来場をお待ちしています★

紙風船のページ (P 7 ~ 10)

今年の夏もとても暑い日が続きましたね・・・。

そんな中紙風船のメンバーはいろんな活動をして、元気に夏を乗り越えることができました！



施設見学 社会福祉法人「愛光園」

7月2日(水) 知多郡東浦町にある「愛光園」に施設見学をお願いしました。活動の内容を見学させて頂いたり、人形を使っての交流会等も行いました。施設は広々ときれいで、周りの環境もとてもものびのびとしていて、気持ちよかったです。また今度はゆっくりとお伺いして、たくさんお話ができるといいなと思います。

あいされん 音楽交流会

9月5日(金) あいされん利用者部会の音楽交流会に初めて参加をしてきました。会場は、他の施設の方たちや愛実友だちの家のメンバーも来ていて、交流しながらのワイワイムード！

珍しい楽器をならしてみたり、歌をうたったり、音楽に合わせてみんなで手をつないでダンスをしたり・・・とてもリラックスできて楽しい一時でした。ぜひまた参加していきたいと思います☆



新作グッズ完成☆紙風船オリジナルハガキ



4月から取り組んできた牛乳パックを使ったハガキが、ようやく商品化しました。

ハガキ一枚一枚に人形劇のキャラクター「ボーちゃん」のスタンプを押し、紙風船のタグを付け、オリジナルハガキの完成！！

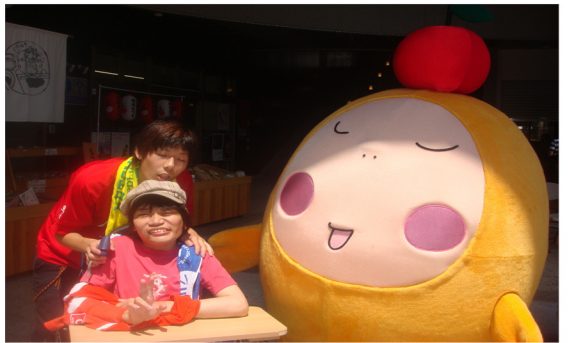
これからまた、販売していける機会を増やし、たくさんの方にこのハガキでお手紙が届く日を楽しみに、これからも引き続き頑張っていけます☆



飯田人形劇フェスティバル



8月9日（土）長野県で開催された飯田人形劇フェスタに参加してきました。
とても楽しい公演でした。みんなの感想を聞いてみましょう☆



メンバーの声は・・・

☆ みんなと一緒に人形劇ができて嬉しかった！

- ☆ いまだ30周年の人形劇フェスタに参加できてよかった！久しぶりに会った人にも観てもらえて嬉しかった！2日目にはエプロンシアターで「はらぺこあおむし」が観れてラッキーだった！
- ☆ コンビネーションや全体のチームワークがよかった！

アシスタントの声は・・・

ボランティアさんの声は・・・

- ☆ 音響側で観ることにより、客席で観ていた時よりみんなとの一体感を感じることができてよかった。
- ☆ いまだに向けてずっと練習してきたので成功して良かったです。お客さんの反応がよかったので演じやすかった。
- ☆ 30周年を迎えた飯田人形劇の歴史！その中にある紙風船の歴史！これからもこの歴史を塗り替えていこう！！

<あとがき>

もう夏も終わりですね。皆さんお元気でしたか？紙風船のメンバーはみんな元気で、人形劇では「モコちゃん」のリニューアル作品を完成させることができました。機会があったらぜひ見に来て下さい！
前よりもパワーアップした人形劇をお楽しみに☆お待ちしております。

田中 良枝

<メンバーの思い>

「 僕の思い 」

成田 憲彦

僕は今年で2 歳になった。

港養護学校高等部をなんとか卒業したものの正直な話、それから行くところがなかった二年くらいして同級生のお母さんが「紙風船」に誘ってくれた。僕の出発はそこからだ。

あれから何年もたって、それなりに大変な事もあるけれど、人形劇に対するやりがいも感じられるようになった大切な仲間、メンバーはもちろん職員さん、ボラさん、一緒になって日本中のあちこちに「夢」を届けるのが僕らの「使命」だと、今しみじみ思っている。そしていつかは世界中に「夢」と「勇気」と「希望」を紙風船のみんなといっしょに広げたいです。

これからもよろしく願います。

<協力者の思い>

「 あい ♥ 紙風船 」

新渡戸 優

「学生のうちに何か一つ一生懸命に取り組めることを」と思い、以前から関心のあった福祉の仕事を見つけるべく求人情報誌を開きました。何かに導かれるように紙風船と出会いました。ちょうど年前のことです。

初めて紙風船に見学に行くと、人形劇の練習をしていました。私は衝撃を受けました。紙風船のメンバーは底抜けに明るくキラキラと輝いていました。私もこの中の一員になりたい！！と本気で強く思ったことを今でも覚えています。まさにビビッときました。

そして、1 周年の公演では「こんなにみんなに夢や希望、笑顔を与えられる紙風船はほんとにすごい！！」と心からそう思いました。私が紙風船にできることはほんの少ししかないかもしれない。でもたくさんの人に感動や勇気を与えるメンバーの少しでもいいから力になればという気持ちを二年前と変わらず今も持ち続けています。私の人生を変えたと言っても過言ではないくらいです。

みんなが個性的で明るいメンバー。時にはぶつかり合ったりたくさんたくさん話し合ったり・・・でもひとつゆっくり解決して、一人ひとりを大切にする紙風船が私は大好きです。これからもずっとずっと大勢の人に愛される紙風船と一緒につくっていきましょう！！

☆公演ページ☆

【公演だより】

第108回 2008年8月2日(土) 地域ふれあい公演 名古屋南文化小劇場
主催NPO法人愛実の会 「モコちゃん」

今回の公演ではリニューアル「モコちゃん」の初披露。地域の方や愛実のメンバーたちに観てもらえたらと思い望んだ本番。皆とても緊張していましたが精一杯演じることができました。沢山の課題を感じるとともに、皆さんに支えられて人形劇ができていることを改めて感じることもできた公演であったと思います。

第109回 2008年8月9日(土) いいだ人形劇フェスタ 飯田信用金庫本店
「モコちゃん」

長野県で開催された、飯田人形劇フェスタに参加してきました。公演はお客さんがとても近く感じられ、また会場の雰囲気も賑やかで、劇の途中では演技に対して拍手や手拍子があったりと、リラックスして楽しく演じることができました。また、他の劇団の作品等を観る機会もあり、今後の私たちの作品づくりにおいても励みになりました。

【今後の公演予定】

- 10月12日(日) パペットフェスティバル ひまわりホール
※チケットがあります！詳しくは紙風船までご連絡ください！
- 11月 2日(日) 大府市勤労文化会館 くちなしホールにて
ボランティアグループ「ひまわり」・大府市社会福祉協議会ボランティアセンター 共催
- 11月 8日(土) 金城学院幼稚園にて 刈込教保育連盟 東海支部 主催
- 11月29日(土) 三重県藤原町
- 3月21日(土) 名古屋ワイズメンズクラブ

☆地域ふれあい公演にて物品や寄付を頂きました☆

磯和 とよ子様
伴野 章子様

奥田 紘子様
松本 陵子様

金田 信彦様

ありがとうございました



「自分を信じ愛する心」を育てたい

南 寿 樹

先月、行われた北京オリンピック——私は、とても不快で腹立たしい感情を持った。初めは、その感情がどこから来るのかははっきりせず、「なにかがおかしい」という感じにすぎなかったが、立命館大学の高垣忠一郎氏「競争社会に向かい合う自己肯定感」（新日本出版社）という本の中の「[支配層]は強大なマスコミ、マスメディアを駆使して[支配層]のものの見方を広げる力を持っています」という言葉でその腹立たしさの原因がはっきりした。

私は、「報道のあり方とそれに流される国民の意識」に違和感を越えた**危機感**をもったのだ。

つまり、獲得したメダルの個数を比較し、メダルを獲得した選手を大々的に賞賛してクローズアップする。あたかもメダルを取れなかった（成績が悪かった）選手など価値がないとでも言わんばかりの報道である。その繰り返しによって、現在の「支配層」と呼ばれる人が求める「効率と成果を求める成果主義、競争主義の価値観」が国民の中に、あたかも当然のものとしてさらに強まり、広げられているのではないか…と思ったのである。

ここにある「優秀な結果が出せなかったら、見離すぞ」という姿勢は、「いうことを聞いてしっかり勉強しなさい。期待に応えられないと見離すよ」という現代の子育ての姿勢と重なる。

高垣氏は「現代の多くの親は、子どもの心に共感するよりも、子どもの頭の出来具合を評価することに力を入れる傾向に陥り[脅しのまなざし][比べるまなざし][値踏みするまなざし]が過剰になっている」という。**親に見離されることがいかに大きな不安を生むか・・・**それに気づきもせず、過剰適応（よい子を演じる）の子を生む親。しかし第二の誕生と呼ばれる思春期の自我の目覚めとの闘いで種々の逸脱行為で挫折するケースがいかに多いことか。非行、不登校、引きこもり…それは「人間らしく生きたい」というサインで社会への警鐘なのだが…

「期待に応えられない自分はダメな人間だ」という自己否定感、生きる意欲を奪う。場合によっては命を奪うことになる。東京オリンピックのマラソンの円谷幸吉選手は国民の期待に応えられない自分を否定し、「もうすっかり疲れました」という言葉を残して自らの命を絶った。

人間誰しも多かれ少なかれダメなところはあつた。青年期の進路指導ではそのダメなところを一つ一つ改善していくことを求めがちだ。それは企業の期待する欠陥のない「人材」をつくるためである。しかし、本当に大事なことは「**ダメなあんたでもいいんだよ。見離さないから**」という愛のメッセージを贈り続けることではないか。そこで生まれる「**自分が自分であつて大丈夫**」という本人の自己肯定感が、主体的に社会に出て行く「人間」を育てるはずだ。

心理臨床の礎を築いたフロイトは、「大人になることは、働くことと愛することができることだ」と言った。この国の大人はなるほど、よく「働いて」はいる。しかし愛することができているか？若者を使い捨てにし、子どもを大事に育てる愛を欠いた社会は成熟した大人の社会だといえるか？——私は、自分自身も含めて「**自分を信じ愛する心**」を仲間と共に育てたい。

そのために「自分はダメだ」（自己否定）という細菌に感染しないように優しく受け止め、自己肯定感を高めるようなセラピー文化をこれからも多くの人と力を合わせて創っていききたい。

—— NPO 愛実の会賛助 ——

見木 靖美	藤掛 朔生	福井 清	橋本 直樹	松本 陵子	越前 武久	八木 隆作
佐藤 全弘	間瀬 滝子	石川 瑤子	今枝ミサ子	伊藤 裕子	塩田 保	田中 俊満
木村 純	真木 芳子	渡辺 孝之	木村 淑江	河合みち子	早川 吉彦	中村弥栄子
早川 教示	大村 恵子	伊藤 和子	瀬口 昭代	中西加津子	藤原 郁子	北畠 映子
石田伊志子	岩崎 武男	伊藤 清香	中森 照子	宇田ゆき子	垣内 裕子	綿貫 雅雄
安達 清海	松浦 孝夫	入門 健一	石崎亮史朗	渡部 千枝	山崎眞由美	平松千鶴代
宮原 祐子	佐野 都吾・美穂	名古屋 YMCA ワイズメンズクラブ・メネット会				

—— 土地建物取得金 ——

橋本 直樹	真木 芳子	河合みち子	早川 教示	石原 信良	瀬口 昭代	比企 敦子
伊藤 和子	中森 由哉	安達 清海	佐野 都吾・美穂			

—— 紙風船夢づくり基金 ——

角川 千彰	水野賀代子	松本 陵子	浜島 鐘利	関村 邦子	田中 博史	太田 恵子
神野ふくへ	林 恵子	渡辺 孝之	永井 猛	堀田 幾子	河合みち子	篠原かよ子
板倉美恵子	早川 吉彦	長崎 京子	早川 教示	吉野 利江	瀬口 昭代	酒井 順子
坂野千名美	竹山 徹	伴野 章子	伴野ふさ子	安達 清海	石崎亮史朗	松村 和枝
盛 和子・紫寿子						

—— NPO資金 ——

佐藤千萬子	成田 秀子	山本 茂一	伊藤 幸雄	八木 隆作	森山 和子	間瀬 滝子
宮崎 正和	中尾みつる	佐藤 仁彦	尾崎志満子	野村 裕子	塩田 保	林 恵子
竹田 朋子	大藪 礼子	早川 教示	石原 信良	鈴木 善文	出 啓二	木村 寛子
梅村 亜恵	都築 典子	山崎眞由美	伊藤 成美	垣内 裕子	中谷 塩子	松浦 孝夫
渡部 千枝	松下智恵子	市原信太郎・誉子	堀部 充・操子	島田 恵子		

—— その他 ——

山村ミヨコ	水島 三造	足立 克己	佐藤千萬子	奥山 喜正	伊藤 幸雄	柏木 実
大森美佐子	水野 亨好	鶴崎 祥子	五十川俊一	水野 幸子	瀬口 昭代	神原 光
木村 寛子	江口 信子	渡邊 綾子	中川 鋪子	野村眞理子	坂口 良彬	秋保 和子
川口いづみ	橋詰 四郎	森 準示	榊原 ちる	臼田 治子	石塚 晶啓	稲田 喜水
市原信太郎・誉子	キリスト者医科連盟名古屋部会					

ご協力ありがとうございました。今後ともご支援よろしくお願い致します。

◆ 任意団体「障害者・友だちの会・愛実」扱い分

2008年6月1日～8月31日まで

「寄付金個人・教会・学校・団体」

安藤眞知子 横井忠弘 井上 誠 山村ミヨコ 後藤光枝 京都みぎわキリスト教会

「賛助会費個人・教会」

吉谷尚之 鈴木武二 戸田伊助

「土地建物基金個人」

岩田太万亀

秋を伝えてくれる花々が空き地や庭にあります。今年も猛暑でした。お疲れが出ませんように、お祈りいたします。ご支援を心から感謝致します。敬称の省略の失礼をお許しください。(長村)

ボランティアさん大募集

仲間達と一緒に活動して下さる方、また食事の後片付けや掃除等を手伝っていただける方を随時募集しています。

興味のある方は、ぜひご連絡ください！！

イエローレシートキャンペーン実施中

毎月11日「イオン・デー」に開催される『イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン』に愛実の会も参加しています。
 現在ジャスコ名古屋みなと店様、マックスバリュート種若宮大通店様、イオン大高店様にボックスを設置させていただいています。
 ぜひ、ご来店の際はご協力よろしくお願いします。

<連絡先>

特定非営利活動法人愛実の会 事務局 居宅介護事業所 あみ 〒456-0034 熱田区伝馬1-8-1-201 TEL 052-700-1120 FAX 052-700-2383 e-mail npo-aminokai@sf.commufa.jp	大地の家 〒456-0034 熱田区伝馬2丁目28-14 「名古屋働く人の家」内 TEL 052-681-6488
紙風船 〒457-0845 南区観音町5-109 TEL/FAX 052-694-5458 e-mail ami_kamifuusen@yahoo.co.jp	愛実友だちの家 〒456-0057 熱田区五番町18-29 TEL/FAX 052-651-5953 e-mail ami-tomo@na.commufa.jp ※アドレスが変わりました

【編集後記】

ようやく秋めいてきて、過ごしやすい気候になってきましたね。
 皆様、元気でお過ごしでしょうか。
 これからの季節、紙風船では人形劇の出番がたくさんあります。皆様も一度ご覧になって下さい。感動すること間違いなしです。
 また、愛実の家、大地の家のメンバーも遠足など外出を企画しています。
 どこかでお会いするかもしれませんね。その時はぜひ声を掛けてみて下さい。
 それでは、次回の会報もお楽しみに。

愛実友だちの家 佐野光子